

OKINAWA TIMES
沖縄タイムス

2010年 2月19日 金曜日
(平成22年) [日]1月6日・赤口

発行所 那覇市おもろまち1丁目3番1号
電話 電話番号900-8678 沖縄タイムス社 2010年

本社 〒900-0001 那覇中央郵便12289号C 沖縄タイムス社
電話代表 ☎886 3600-3000
読者センター ☎886 3600-3663

HP <http://www.okinawatimes.co.jp/>

「貧困に苦しむ子」増加

県内教員8割が実感

親世帯の「成長に影響」87% 経済状況「成長に影響」87%

本紙アンケート

「保護費をなく治療せよ、虫歯からむし歯に病巣を断るよ」「徴収金を払わず、遠征に行かない」「食費は削減せよ」「貧困苦しい子どもの実情が、教師の目を通して浮かぬようになった」。沖縄タイムスは小中学校の教員を対象に、1月から2月にかけて本紙アンケートを実施。県内各地の291人から回答を得た結果、家庭や経済状況が悪化し子供が増える、と受けた教員が8割以上だった。(安部日/玉野まど子) 17日間連続

■ 家庭・経済状況が厳しい子が増えたと思いませんか	いいえ25人 (10.4%)	無回答16人 (6.6%)
はい200人 (83%)		
■ 親の経済状況が子どもの成長に影響していると思いませんか	いいえ22人 (9.1%)	無回答9人 (3.7%)
はい210人 (87.9%)		

(中学生2校は回収没入)

「給食費払えず」63%

アンケートは、県内各地4区1市、八重山地区5市人の教員に回答依頼、77人の教員が返答し、分析した。回収率は53%。回答人数は中頭地区50人、島尻地区32人、宮古地区10人、八重山地区10人、那覇地区20人、国頭地区10人となった。「親の経済状況が子どもの成長に影響している」と答えたのは291人(回答者の87.1%)。家庭・経済状況が悪化し子供が増えた、とした教員は、200人(83.0%)となつている。この子どものため、と自分の金を使った教員は106人(43.3%)、おわり一年に解消された、と回答した教員もいた。「給食費を払えない子どもはいるか」との問いには、106人(63.1%)と回答している。回答率を比べてみると、



男子ハーフパイプ決勝 国母和宏の2回目
=サイプレスマウンテン

子どもの貧困の解決策と
%が「はい」とした。

Vancouver 2010
olympic rings
＜第6日＞
男子ハーフパイプ
選手ババ・レスカ
選手ババ・レスカ
選手ババ・レスカ
選手ババ・レスカ
選手ババ・レスカ

国母 8位
ハーフパイプ

して「給食費や学校で使う『はい』との声が数多く上
すべての費用を無料にして」がった。

